



## ～お知らせ～



早いもので今年もあとわずかになりました。今度の年末年始のお休みは29日(土)から4日(日)までの9連休。ゆっくりと新年を迎えられますね。

今年の出来事を振り返ってみました。

- 1月 2-3日 第101回 箱根駅伝 青山学院大学が連覇
- 7日 米ロサンゼルス近郊で山火事 セレブ邸宅地区にも火の手
- 19日 韓国・尹大統領を内乱容疑で逮捕 現職で初
- 20日 トランプ米大統領が2期目就任式
- 27日 フジテレビ、タレントの女性トラブル対応で会長・社長が辞任
- 2月 7日 石破首相が訪米 トランプ大統領と初の日米首脳会談
- 8日 新潟市、佐渡市で最多降雪
- 3月 18日 2025シーズンMLB、東京で開幕戦
- 28日 ミャンマー中部でM7.7の地震 死者2000人超
- 3-4月 国内のコメ価格高騰 政府備蓄米を放出へ
- 4月 2日 トランプ米大統領が相互関税発表 世界経済に打撃の懸念
- 13日 2025年大阪・関西万博が開幕
- 5月 ドジャース・大谷、自己最多に並び月間15ホームラン
- 8日 新ローマ教皇にプレボスト枢機卿「レオ14世」名乗る
- 21日 江藤農相がコメ発言巡り辞任 後任に小泉進次郎氏を起用
- 5月下旬 政府備蓄米、随意契約に変更し店頭販売開始
- 6月 3日 「ミスタージャイアンツ」長嶋茂雄氏が死去
- 4日 韓国大統領選で李在明氏が勝利、大統領に就任
- 7月 7日 トランプ米大統領、日本に関税25%を通知
- 20日 第27回参議院選挙 与党が過半数割れ
- 19-23日 ドジャース・大谷がMLB日本人初となる5試合連続ホームラン
- 23日 日米、相互関税・自動車15%で合意
- 8月 3日 全英女子オープンで山下が優勝 日本人史上6人目の女子メジャー制覇
- 15日 アラスカで6年ぶり米露首脳会談
- 9月 3日 抗日戦争勝利80周年 北京で軍事パレード
- 7日 石破首相が辞任を表明
- 13-21日 2025世界陸上 34年ぶりに東京で開催
- 29日 アサヒビール一時生産停止サイバー攻撃
- 10月 4日 自民党総裁選 決戦投票で高市氏が勝利
- 6日・8日 ノーベル賞 坂口志文氏が生理学賞、北川進氏が化学賞受賞
- 13日 2025年大阪・関西万博が閉幕
- 13日 ガザ和平案「第1段階」合意 ハマスが生存人質を全員解放
- 21日 高市早苗氏が日本初の女性首相に就任
- 27日 日経平均が初の5万円台突入
- 11月 1日 MLBワールドシリーズ ドジャースが2連覇
- 18日 大分市佐賀関で大規模火災 170棟以上延焼し山林にも
- 26日 香港で高層マンション火災 多数の住民が犠牲
- 12月 8日 青森県沖を震源とする地震発生 八戸市で震度6強
- 4-11月 熊の出没件数、人身被害が最悪件数に
- 10月28日 秋田県知事が防衛省へ自衛隊派遣依頼、熊対策へ後方支援
- 11月13日 警官、ライフル銃で熊駆除へ

今年一年、国内は熊騒動と米騒動、海外はトランプ大統領とMLBが新聞紙上を賑わせました。インターネット上で広まった「2025年7月に日本で大災害が起こる」という情報はデマでしたが、壊滅的な大災害はなかったものの8月の豪雨災害や大分の大火など被災された方も少なくなかったようです。

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だと言われています。その中でも基本となるのは「自助」、自らの命は自らが守る意識を持ち、一人ひとりが自分の身の安全を守ることです。そして、特に高齢化が進む地方では、「自助」と「共助」を合わせた「両助」が命の確保の第一歩と思います。



この時期になると毎年悩んでいるのが「年賀状じまい」。そろっといいかと思ってもなかなか踏み切れません。今年こそと思いネットを見てたら、こんな記事を見つけました。

2026年用の年賀はがきが発売開始となりました。年末に向けて準備を始める人もいる一方、増えているのが「年賀状じまい」です。SNSの普及や郵便料金の値上げもあり、「今年を最後に…」と考えている人は増加傾向とみられ、それが年賀はがきの発行枚数にも反映されています。

「年賀状じまい」はいつ、どうやって出せば失礼にならないのか？ベストなタイミングとマナーは？

10月30日、全国一斉に発売開始となった2026年用の年賀はがき。来年の干支「馬」が描かれたデザインなど5種類で、早速購入した人は、「祖父母が年賀状を送ってくれるのでお返ししなければと思って」「SNSだと文字だけになって、本当の思いが伝わりづらい。文化を残していきたい」などと話していました。しかし、ことしの発行枚数は、全国で7億5,000万枚と去年のおよそ7割に減少し、ピークだった2003年の44億5,936万枚のわずか17%にまで減りました。

背景としては「書くのに時間がかかる」「コストがかかる」「SNS等で代用できる」といった声が多く聞かれ、企業間でも経費削減やペーパーレス化の流れから年賀状を取りやめる動きが広がっています。

毎年多くの年賀状プリントを受注しているカメラのキタムラの年賀チームは、「年賀状じまい」を伝えるタイミングについて「相手が準備する前」が適切と助言しています。最もスムーズなのは「年賀状に書き添える」方法です。今年送る年賀状に「来年からは控えさせていただきます」といった一文を添えると、唐突さもなく相手も受け入れやすいです。また、「暑中見舞い」などで事前に伝えるのも丁寧です。ちなみに、黙って年賀状を送らなくなる「サイレント年賀状じまい」は、相手に失礼だと受け取られる可能性がありますのでご注意ください。

「年賀状じまい」の文面については、次の4つポイントがアドバイスされています。

- (1) 辞退の意思は明確に  
曖昧な表現は避け、「今年限りで」「来年からは失礼させていただきます」など、はっきりと伝えましょう。
- (2) 簡潔に理由を書く  
「高齢のため」「SNSでのご挨拶に切り替えるため」など、一言添えるのが丁寧です。面倒になった、郵便料金の値上げがなど、ネガティブな理由を書くのは避けましょう。
- (3) 全員への告知であることを書く  
「皆様に対し」「どなた様にも」といった言葉を使い、個人的な関係悪化などではないことを伝えましょう。
- (4) これまでの感謝を伝える  
「長年のご厚情に感謝申し上げます」など、今までのやり取りへの感謝の気持ちを必ず添えましょう。

でも、いざ「年賀状じまい」に踏み切ろうと思うとお世話になった人や昔の飲み仲間の顔が次々と浮かんできます。踏み切れない・・・。もう少し考えよう。



今年一年ご苦労様でした。よいお年をお迎えください！

「ウィークリースタンスの徹底を」お願いします

- ① 昼休みや16時以降開始の打合せは行わない
- ② 休日明け日(月曜日等)は依頼の期限日としない
- ③ 休前日(金曜日)は新たな依頼をしない
- ④ ノー残業デー(水曜日)は勤務時間外の依頼はしない
- ⑤ ランチタイム・オーバーファイブ・ノーミーティング
- ⑥ イブニング・ノーリクエスト (R5. 6から)

〇必見！ [ホームページをご覧ください！](#) 新たな情報等があれば教えて下さい

[www.hokurikuyouchi.co.jp](http://www.hokurikuyouchi.co.jp)

〇お願い！ [「クロジカ」\(旧Aipo\)を活用しましょう](#)

